



創立150周年 実行委員会だより

令和5年11月30日 第13号

昭島市立成隣小学校
周年実行委員会
実行委員長 榎本成夫
副委員長 猪狩正博
学校長 松川靖弘
事務局長 神宮正和

【問い合わせ】成隣小学校 副校長 神宮正和 ☎ 042-541-0068

成隣小学校150年物語

10月、11月の全校朝会の校長講話では、「成隣小学校150年物語」と題し、4回に分けて学校の歴史を話しました。体育館でスライドを投影し、古い帳簿などの具体物を見せたり、統計を示したりしながらクイズ形式にして、1年生から6年生まで興味や関心をもてるようにしました。



成隣小の始まり

執中学舎

(しっちゅうがくしゃ)

どこにあった?



① 観音寺
(かんのんじ)



② 駒形神社
(こまがたじんじや)



観音寺(かんのんじ)

【4回のお話の内容】

「校名『成隣』の由来」「最初の木造校舎は村の人達の寄付金と協力で作られた」「多摩川を渡って平町(現在八王子市)から通う児童がいた」「卒業生は約7700名」「多い時で、児童数1200名の時があり分校を作った」「分校は光華小学校になった。成隣小と光華小学校はきょうだい学校」



←最初の木造校舎が建築された当時の貴重な資料『成隣学校建築書』です。見取図、建材費や人件費等の総費用、寄付金総額と寄付者名簿が綴られています。

当時の卒業生の作文と一緒に紹介しました。

資料提供: 石川幹雄様